

令和 8 年度 第 1 回八雲町熊石地域審議会議事録（要旨）

【開催日時・場所】

令和 8 年 7 月 28 日（火）18:00～19:35 熊石総合支所 2 階第 1・2 会議室

【出席者】

委 員： 安住真委員、棚田昌幸委員、桂川裕樹委員、西田香予子委員、小林貴樹委員、
門脇絵里香委員、加藤雅美委員、宮口洋一委員（8 名）

（欠席 4 名： 穴戸英委員、三木洋委員、田村旭委員、門脇謙哉委員）

町： 萬谷町長、竹内副町長、田村地域振興課長、北川住民サービス課長、佐々木産業課長
石黒熊石国保病院事務長、関熊石消防署長、福原八雲総合病院事務長、井口財務課長
川崎総務課長、吉田新庁舎建設推進室次長（11 名）

事務局： 目谷地域振興課長補佐、佐藤まちづくり推進係長（2 名）

傍聴者： 0 名

報道機関： 0 名

【要 旨】

○町長から委嘱状の交付が行われた。（審議時間確保のため机上配付。）

○会長に安住真委員、副会長に棚田委員が選出された。

○令和 8 年度熊石地域予算概要について説明し、質疑を受けた。

○八雲町の予算概要及び財政状況について説明し、質疑を受けた。

○熊石国保病院の経営状況について説明し、質疑を受けた。

○八雲町役場新庁舎建設の進捗状況について説明し、質疑を受けた。

○国保病院事務長より、人員不足を背景に令和 8 年 8 月から外国人を雇用する旨の報告があった。

【内 容】

1. 開会 田村地域振興課長

2. 委嘱状の交付

3. 町長挨拶

4. 会長・副会長選出

5. 報告事項

（1）令和 8 年度熊石地域予算概要について

資料 1-1、1-2 により各担当課長の説明後、質疑応答。

委員 水産業費に二海サーモンに係る予算の記載がないが、町から民間に移行したためか。

町長 鮎川にある種苗生産施設の運営費用等、予算については本庁の水産課で計上しているため、載

ってこないということでご理解願います。

委員 近隣市町村でサーモンの養殖事業が始まっているが、稚魚を育成する技術は熊石にしかない。稚魚の生産量を増やしていった方がいいのでは。

町長 今の施設規模では面積が少ない。7年度に生産施設の拡大と見市川からの取水量を多く引くための設計委託費を予算計上している。また、今年度は国の交付金を活用して施設の拡大を行う予定となっております。

(2) 八雲町の予算概要及び財政状況について

資料 2-1、2-2 により井口財務課長の説明後、質疑応答。

委員 財政試算の表において、令和 9 年度から令和 12 年度の 4 年間の赤字額を足すと 1 年度分の歳出合計額と同じくらいになるが、今後財政は大丈夫なのか。

財務課長 現在、事務事業の見直しを進めておりまして、どうしても直ぐにやらなければならない事業、翌年度以降にずらしても支障のない事業を厳選している最中であります。表にある試算とならないよう予算圧縮に努力をしていきたい。

(3) 熊石国保病院の経営状況について

(1) 熊石地域予算概要で詳しく説明したため省略。

(4) 八雲町役場新庁舎建設の進捗状況について

資料 4 により吉田新庁舎建設推進室次長の説明後、質疑応答。

委員 今後の想定スケジュールとありますが、先程財政状況が厳しいとの説明がありましたが、ちょうど基金が足りなくなるタイミングと同じくらいと思うのですが、大丈夫なのか。試算の中に入っているということでしょうか。

町長 大部分は起債を活用する予定である。合併特例債という有利な起債があり 9 割まで借り入れでき、元利償還金の 7 割が交付税で戻ってくるので、実質 3 割の負担となる。また、庁舎が浸水区域からの移転となるため、緊急防災・減災事業債が使えるため、同じく 7 割が交付税で戻ってくる。庁舎を建てることによって今すぐ財政的に厳しくなるものではなく、基金を取り崩してやるものでもない。

6. その他

委員 財政を健全化するために、町民は何をしたらいいですか。

町長 今行っている事業で縮小しなければならないものが出てきた時は、ご理解をいただきたい。なるべく不利益とならないようにしたい。ただ、新しい事業をやったり、大きい建物の改修などは時期をずらしたり、小さい修理で長持ちさせるなど、我慢してもらうこともあるかもしれません。ご協力をお願いしたい。

委員 ふるさと納税が減ってしまった要因はなんですか。

町長 いくら等を大量に扱っていた水産加工業者の経営が町外に移ったことにより、返礼品が出せなくなったことが大きい。今年度は1,000万円程度しか集まっていない。

委員 ロバと塩の行商をしている高田さんで町おこしはできないのか。

町長 知名度が高くフォロワー数も多いと聞いています。ただ、ご本人の生き方としても、いつまで熊石に居てくれるかわからない中、町として投資することは難しいと考えている。

委員 町財政の一般会計ですが、令和12年以降も人口は減少し、交付税もどんどん減ってくる中、例えば熊石総合支所など老朽化している建物もいろいろあるだろうし、この先どうなるんだろうなど。

町長 新しいものを建てることは難しいので、古い建物を長く使っていく手立ては必要と考えている。ただ、中小の事業者は町からの発注があって経営が成り立っている現実もあるため、一定程度、町は町内経済も考えながら財政運営をしていかなければならないと考えている。

委員 ふるさと納税ですが、先程の水産加工業者へのアプローチは今後していくのか。

町長 現在でも当該水産加工会社にはお願いをしてきている。また、他の業者の開拓も含めていろいろと進めているところ。少しでもふるさと納税を集めることが、町の財源に繋がるので引き続き努力していきたい。

7. 閉会